



## 一貫コース通信

### 一貫13期生の入学を祝し（実りの多い学校生活で送る事を願って）

桜の花に祝福されて、福島成蹊中学校に入学した23名の13期生諸君、また、新たに高校生となった10期生諸君進学おめでとう。中高生が集う学び舎を生かし『校訓』の体現者たる“魅力溢れる、問題解決能力を備えたヒト”となるべく、共に励んで参りましょう。その為にも、初めに、先輩は後輩に対し思いやりの心を、後輩は先輩への尊敬の念を持って下さい。

さて、本年は開学から109年目を、一貫教育も13年目を迎えました。本学が一世紀を超えて発展出来た要因は、『桃李の精神』を堅持しながらも、常に時代に合った努力を続けて来たからに他なりません。これを表す格言“不易流行(ふえきりゅうこう)”は、物事にはその本質として変えてはならないものがある一方、時代と共に変化しなければならない理(ことわり)のある事を教えてくれます。また、この事は、国の趨勢や学校の在り方に止まらない、人の成長にも通じる事です。端的に言えば、成長とは“before&after”の差で、以前と比較し何が出来る様になったかです。例えばスポーツの技術や芸術分野の表現力もそうですし、勉強では学力もこれに当たります。結局の所、これは自分の成長への意志の強さであり、それがヒトを決定付けている様に私には思えるのです。

ところで、新入中学生23名の中には『東京大学』を目標に入学した生徒が4名、『医学部・医学科』希望が11名居り、嬉しく思います。同様に、新高校1年生でも、既に『東大』4名、『京大』1名、『医学部・医学科』4名が、その目標に向けて学んでいます。それも、単なる希望で終わる事がない様、根拠を持ってここまで努力を重ねて来ました。

思うに、誰もヒトの能力の目方を言葉で言い表すことは出来ません。才能や能力などは、あくまでも結果論で、その過程では未定なのです。私の経験則では、若い時期にこそ“大きな夢と高い志”を持つ事はとても大切な事です。夢は大きければ大きい程良いし、志は高い程良いのです。この気持ちの持ち様が、結果を分けるのだと信じています。私は、40数年この世界に身を置き、これまで沢山の卒業生に助けて貰っています。なぜなら、ジャンルやカテゴリーの別なく、ある程度の領域でプロと称せる教え子が居るからです。それ等、人材の共通点は“前文+努力を継続出来る”姿勢に在ります。

どうか、目標成就の手ごたえを掴む、年度にしようではありませんか。

『天分、これを持たない者が居ようか。

才能、単なる子供の玩具。

努力こそが人を“ひと”とし、

汗のみが天才を創る。』

ードイツの詩人・テオドール・フォンターネー

